



# 南三小

教育目標  
よく考える子ども  
心も体もたくましい子ども  
仲良く助けあう子ども

10月号

町田市立南第三小学校  
令和7年9月30日  
校長 工藤 成

URL <https://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310182>

## 実りの秋を迎えて

校長 工藤 成

朝夕が過ぎしやすくなり、校庭の木々も少しずつ色づき始めました。様々なことに意欲的に取り組むのに最適なこの時期、日々の授業や行事を通して、子供たちの学びの世界を広げ、知る喜び、学ぶ喜びを味わわせていきたいと思えます。

全国学力・学習状況調査 平均正答率			
	国語	算数	理科
南三小	71.0	68.0	63.0
東京都	70.0	64.0	60.0
全国	66.8	58.0	57.1

さて、左表は4月に行われた6年生対象の全国学力・学習状況調査の集計結果です。調査の目的は課題把握と今後の指導の充実・改善です。本校の平均正答率は各教科とも全国や東京都の平均を上回る結果でした。しかし国語では自分の考えが伝わるようにまとめたり、構成を工夫したりすることに課題が見受けられました。そこで複数の資料から必要な情報

を見付けてまとめさせることを通して、さらに力を伸ばしていく必要があります。算数では個人差はありますが、各領域における知識や技能はほぼ身に付いていると考えられます。ただ記述式で上手に答えられない傾向も見られました。授業では思考を深める場面や振り返りの場面の時間を十分とりノート指導を一層充実させていきます。そして理科では電気を通す金属、磁石に引き付けられる金属を答える問題の正答率が、全国や東京都と同様低い傾向で、知識の定着が不十分な箇所もありました。そこで事物・現象と知識を関係付けたり、知識を相互に関連付けたりして、理解を深めることを意識し授業改善に取り組んでいきます。

児童質問紙 集計結果より抜粋 ※数値は肯定的回答(%)		南三小	東京都	全国
(1)	PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができる	92.2	84.7	81.8
(2)	インターネットを使って情報を収集することができる	98.0	90.8	89.8
(3)	PC・タブレットなどのICT機器を使ってプレゼンテーションを作成できる	92.1	82.7	76.7
(4)	友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	98.1	91.0	91.9
(5)	学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	92.1	82.9	83.3
(6)	学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	88.2	79.6	80.8
(7)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	96.0	87.4	88.0

また上の表は同調査の児童質問紙 集計結果から特徴的なものを抜粋したものです。(1)~(3)の肯定的回答の数値からは、タブレットを学習の道具として活用しながら情報収集を行い、それをまとめて文章やスライドを使って表現することに対し、ある程度自信をもっている児童が多い傾向にあることが分かります。加えて(4)~(7)の数値からは、学校生活をよりよくするために話し合い、合意形成しながら、諸課題を解決していく学級・学年の姿が浮かび上がってきました。これからも互いのよさや可能性を發揮できる集団を基盤としながら、一人一人の特性を生かした個別最適な学びや、相互に学び合う協働的な学びを意識した授業実践で子供たちの学び続ける力を高めてまいります。

明日から10月。年度の折り返しです。街のあちらこちらから優しく甘い香りがしてきます。オレンジ色の金木犀が開花する季節になりました。ちなみに江戸時代に中国から渡来した金木犀は雄株だけだったので、日本の金木犀には種ができません。そのため主に挿し木(さしき)という方法で人工的に増やしてきました。つまり人間との「出会い」によってつながり広がっていくことができたのです。やはり出会いは大切です。子供たちにとって多くの素晴らしい出会いがこれからの人生を豊かに彩ることを心から願います。

